

## 2022 年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名 永原 真奈見	職名 講師	学位 博士(人間環境科学)(福岡女子大学)
-----------	-------	-----------------------

研究分野	研究内容のキーワード
栄養教育学	食育、生活習慣、食事調査、料理区分、特定保健指導

研究課題
<ol style="list-style-type: none"> <li>小学生における生活習慣や不定愁訴の実態の検証</li> <li>主食・主菜・副菜等の料理区分を活用した食事評価</li> <li>女子大学生における朝食摂取状況、運動習慣、身体あるいは精神上的の自覚症状に関する検証</li> <li>福岡県内のある市における食育に関する調査結果の検証</li> <li>特定保健指導における減量目標及び長期的指導効果の検証</li> </ol>

担当授業科目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教育論Ⅰ(2年後期)</li> <li>・栄養教育論Ⅱ(3年前期)</li> <li>・栄養カウンセリング論(3年後期)</li> <li>・栄養教育論実習Ⅰ(3年前期)</li> <li>・地域栄養活動論(3年後期)</li> <li>・管理栄養士演習Ⅱ(栄養教育論)(4年前期・後期)</li> <li>・臨地実習Ⅲ(3年後期、4年前期)</li> <li>・初年次セミナーⅠ(1年前期)</li> <li>・保健福祉学入門(1年前期)</li> <li>・学校栄養指導論Ⅰ(3年前期)</li> <li>・学校栄養指導論Ⅱ(3年後期)</li> <li>・栄養教育実習事前事後指導(3年後期、4年前期・後期)</li> <li>・教職実践演習(4年後期)</li> <li>・実践活動((3年後期、4年前期))</li> </ul>

授業を行う上で工夫する事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 栄養教育論Ⅰ 担当 】(2年生後期)</p> <p>管理栄養士国家試験の出題基準における「栄養教育論」分野は、年々、問題の難易度が上がっている傾向にある。毎回の講義は、教科書に加えて、パワーポイントによるスライド(ムービー等も利用)とプリント資料(書き込み欄付)を作成・配布し、学生の理解度が深まる工夫を行っている。また毎回、前回の講義内容の復習小テストを実施し、学生の理解度を把握しながら講義を進めている。2年生で履修する科目であるが、国家試験において出題頻度が高い用語についてはその旨を強調し、時には過去問を示して解説を行うことで、国家試験対策にも通じるよう工夫している。</p>
<p>授業科目名【 栄養教育論Ⅱ 担当 】(3年生前期)</p> <p>栄養教育論Ⅰで学んだ理論を基に、各ライフステージやライフサイクルに応じた栄養教育の特徴や課題、国や自治体における健康づくりの制度及び施策について解説している。栄養教育論ⅡにおいてもⅠと同様に、毎回、前回の講義内容の復習小テストを実施し、学生の理解度を把握しながら講義を進めている。また、講義の中で各ライフステージにおける実践活動の実際を紹介することで、学生がイメージしやすいように工夫している。</p>

<p>授業科目名【 栄養カウンセリング論 担当 】(3年生後期)</p> <p>栄養教育論Ⅰ・Ⅱの講義で学んだ基本的なカウンセリング技法を用いて、行動科学の理論に基づいたカウンセリングを行う実践的スキルについて解説している。様々な課題やライフステージ別の事例を用いた演習を取り入れることで、行動科学理論への理解が深まるよう工夫している。</p>
<p>授業科目名【 栄養教育論実習Ⅰ 担当 】(3年前期)</p> <p>栄養教育論Ⅰ・Ⅱの講義で学んだ知識・理論を基に、個人及び集団におけるカウンセリングや栄養教育を実際に体験し、計画・実施・評価・改善を通して栄養教育マネジメントスキルを習得することを目標としている。健康や食生活に関する情報収集、優先課題の特定、学習計画の立案、実施、評価、改善までのPDCAサイクルの作業を体験的に学ぶことで、実践につながられるよう工夫している。</p>
<p>授業科目名【 地域栄養活動論 分担 】(3年生後期)</p> <p>地域のあらゆる場面で活躍する管理栄養士の業務内容について、実際の手法をもとに解説を行い、管理栄養士の役割について解説している。また、地域栄養活動実践の概要と行政組織、地域における公衆栄養活動プログラム立案の手法等についても理解が深まるよう工夫している。</p>
<p>授業科目名【 管理栄養士演習Ⅱ(栄養教育論担当) 】(4年前期・後期)</p> <p>「栄養教育論」分野を担当している。国家試験対策の模擬試験受験後に配布される解答・解説書は、解説が簡素であることが多いため、「栄養教育論」分野に苦手意識をもつ学生も多い。出題された問題の各選択肢について、解答のみにとどまらず、その範囲で系統化して習得しておくべき基礎知識も併せて解説している。</p>
<p>授業科目名【 臨地実習Ⅲ 分担 】(3年生後期)</p> <p>臨地実習Ⅲでは、保健所へ実習に行く学生の指導を行う。実習期間中に実施される実習課題や研究授業内容を事前に確認し、より円滑に実施できるよう指導している。臨地実習の巡回時には、実習中の学生への助言及び学生の研究授業の講評を行っている。実習報告会では、各施設での実習内容について講評を行い、教員としての立場から実習の効果が最大限に得られるよう努めている。</p>
<p>授業科目名【 初年次セミナーⅠ 分担 】(1年前期)</p> <p>学生自らが目的をもって主体的に学ぶための着想力、論理性、表現力、独創性などの力を養成するため、1年生を対象に、スタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化を図ることを目的とした科目である。その中でも、ノート・テイキングやリーディングに関する講義を担当し、例題を使って実際に体験させながら習得させることで、講義の中で定着を図るよう工夫している。</p>
<p>授業科目名【 保健福祉学入門 分担 】(1年前期)</p> <p>保健福祉学は人々の健康と福祉(幸福)に貢献することを探求する研究の営みである。本科目は、保健・医療・福祉の専門性を理解するために本学教員の学問領域にふれ、多職種連携の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題への認識を深めていくことを目的としている。その中でも、「栄養の専門領域を探求するとは」の回を担当し、健康寿命に関わる研究成果等を分かりやすく紹介することで、保健福祉学への興味・関心が高まるよう努めている。</p>
<p>授業科目名【 学校栄養指導論Ⅰ 担当 】(3年前期)</p> <p>栄養教諭の使命や職務、児童生徒を取り巻く食生活上の課題を踏まえた計画的な食に関する指導の実際、学級担任や地域・家庭と連携した食育の推進等について解説している。毎回の講義では、教科書に加え、学習指導要領や食に関する指導の手引等を用いて学生の理解度が高まるよう工夫している。また、パワーポイントによるスライドとプリント資料(書き込み欄付)を作成・配布し、学生が効率的に学べるよう工夫するとともに、学生の発言の機会を多くすることで積極性を培うよう努めている。</p>
<p>授業科目名【 学校栄養指導論Ⅱ 分担 】(3年後期)</p> <p>学校栄養指導論Ⅰにおける基礎学習をふまえ、小学校、中学校の教科における食に関する指導内容や授業計画案の作成方法等について解説している。少人数でより深い学びができるよう、学生の積極的発言を促し、栄養教諭の教育実習に行くための実践的スキルが身に付けられるよう工夫している。</p>
<p>授業科目名【 栄養教育実習事前事後指導 分担 】(3年後期、4年前期・後期)</p> <p>履修した教職科目の理論や技術をもとに、栄養教育実習に行くに当たっての心構えや予備知識、食の指導にかかわる授業研究について解説している。実習後には、実習中の反省や問題点の整理・分析に関する事例発表及びクラス討論を行うことで、今後の課題が明確に認識できるよう工夫している。</p>

授業科目名【 教職実践演習 分担 】(4年後期)

これまでの学習と教育実習を振り返りながら、栄養教諭としての使命感、家庭や地域への責任、信頼される学校づくり等の課題について考える機会となることを意図している。単位取得状況や資質能力に関する評価、まとめ等を記入する履修カルテを活用して、教職に関する学びの集大成となるよう促している。

授業科目名【 実践活動 】(3年後期・4年前期)

栄養教育に関連した文献を探求し、内容を適切にまとめ、紹介するスキルの習得を目指している。また、高校生や成人を対象とした栄養教育の実践を通して、栄養教育手法を身に付け、社会人として働く上でのより実践的な知識とスキルの習得ができるよう心がけている。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本栄養士会		2001年4月～現在に至る
日本食育学会		2018年4月～現在に至る
日本栄養改善学会		2019年9月～現在に至る (2001年4月～2016年2月まで所属)
日本健康教育学会		2022年4月～現在に至る

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(学会等発表) 1. 『食と健康』に関する 西南女学院大学・九州 歯科大学連携公開講 座	共著	2023年3月	地域貢献活動交流会 (ポスター)	教員と学生の協働による公開 講座を開講した。多職種連携に よる啓発を行うことによって、 生活習慣を改善するための動 機付けとなる機会を提供する ことができた。
				研究業績総数 (2023年3月31日現在) 学術論文 原著論文 8(うち筆頭 5) 研究ノート 4(うち筆頭 0) 紀要 15(うち筆頭 4) 学会発表 56(うち筆頭 13) 査読論文数 3

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
高大連携講座における講義	講師 「朝ごはんを制する者は 人生を制する!!!」	2022年6月1日
食育イベント2022 (主催：北九州市、教育委員会) (協力：日本高血圧学会)	料理区分を用いた食事診断の企画・実施	2022年8月31日
第29回国際高血圧学会減塩担当	監修補助「Kyoto Wondermeal」(4食分)	2022年8月～10月
「食と健康」に関する西南女学院 大学・九州歯科大学連携公開講座	料理区分を用いた食事診断の企画・実施	2022年10月8日

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

・教職課程委員	2021年4月～現在に至る
・管理栄養士国家試験対策委員	2022年4月～現在に至る